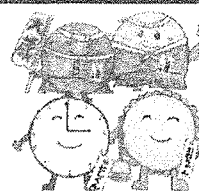


心和得天真

～心和して天真を得る



山口市立大歳小学校
学校だより
令和7年11月

魂の響き！感動！全員主役の校内音楽会

先日は、お忙しい中、本校の校内音楽会にご来校、ご参観いただき、誠にありがとうございました。子どもたちの精一杯の姿と、それを見守ってくださる保護者の皆様の温かいまなざしが一体となり、心震える素晴らしい一日となりましたことを、厚くお礼申し上げます。

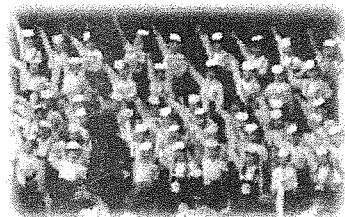


努力の積み重ねが織りなす「感動のタペストリー」

音楽会に向けての取組は、9月下旬から始まりました。どの学年も、どうすれば自分たちの思いが伝わるか、どうすれば最高のハーモニーを奏でられるか、創意工夫を凝らしながら熱心に取り組む姿がありました。練習期間中、校舎を歩くたびに、教室や音楽室、体育館から、透き通った歌声や、リコーダー、鍵盤ハーモニカの美しい音色が絶え間なく聞こえてきていました。音楽が得意で好きな子もいれば、苦手で嫌いな子もいます。「もう、いや。」と途中で投げ出したくなった場面もたくさんあったと思います。それでもみんなで励まし合い、一緒に練習をし、一生懸命努力を重ねたからこそ、みんなで一つの音楽をつくりあげていくことができました。

「先生、ちょっと聴いて！」と、休み時間にも自主的に練習し、自分の成長を誇らしげに語りかけてくる子どもたちの瞳の輝きはとても美しかったです。朝の会に聞こえてくる歌の練習は、日に日に上達しており、我々教職員の心にまで力を与えてくれました。

本気の証。舞台に咲いた「精一杯の花」



そして迎えた本番当日。朝、「すごく緊張する！」と、そっと耳打ちしてくる子どもたちの真剣な表情を見て、私は確信しました。これこそが、彼らがどれほどこの音楽会に本気で取り組み、本気で向き合ってきたのかを示す、何よりの証だと。

舞台上に立った子どもたちは、まさに輝いていました。元気いっばいに、全身で楽しそうに歌い奏でる姿。強弱やテンポに細心の注意を払い、「届けたい」という気持ちを込めて演奏する真剣な表情。

どの瞬間も、子どもたちの「精一杯」が感じられ、終始、感動と興奮で会場を包み込んでいたと思います。そんな子どもたちの姿は、見ているすべての人の心を揺さぶり、大きな感動となって返ってきたはずです。

努力は、必ず誰かの心を動かす

子どもたちへ、心から「あっぱれ！」を贈りたいと思います。

きっと子どもたちは、大きな達成感という宝物を得たはずですよ。そして、子どもたちが見せてくれた「一生懸命の姿」は、人の心を深く動かす力をもっています。誰かの心を動かし、喜びや幸せを共有できることは、自分自身の大きな喜びにもつながります。

努力し、挑戦した先に何が見えるのか。今回の音楽会を通してそこに気づいた子どもたちもたくさんいるのではないのでしょうか。

2学期もちょうど折り返し地点です。今回の経験を自信や誇りとし、これからも様々なことに挑戦し、努力を続けてくれることを期待しています。私たち教職員一同、子どもたちのさらなる成長を、いつまでも全力で応援し続けます。

校長 門 岡 裕 二

お知らせ

本校では、学年に応じて教科担任制を取り入れております。教科の専門性を生かしたり、多くの教員で子どもたちを見守り支援したりできる利点があります。

5、6年生においては、多くの教科を、専科教員や同学年の教員で授業を行っていく工夫に努めています。しかし、校内体制等の状況から、11月より、5、6年生の家庭科の授業を各担任で行うように変更させていただきます。他の学年においても、これまで、途中で指導する教員が変更する場面があったかと思いますが、ご不安等おかけして申し訳ございません。子どもたちには、できるだけ混乱等が起きないように配慮しながら、指導に努めていたいと思います。引き続き、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。